

人文論叢

三重大学人文学部文化学科研究紀要

第 5 号

目 次

論説

- 漱石とジェーン・オースティン(1)……………福尾 芳昭(1~15)
- Ancrene Wisse の表題……………阿波加清志(17~25)
- The Marble Faun におけるアルカディア的瞬間……………小田 敦子(27~37)
- ブレヒトの『ホラティ人とクリアティ人』について……………友永輝比古(39~47)
- 『ディー・ヴァイセン・ブレッター』……………宇京 早苗(49~67)
- 知性の義務の分析 ——
- 『詩集』の萌芽……………川那部保明(69~79)
- ボードレール「されど飽きたらずして」を読む ——
- Gödel の第 2 不完全性定理……………山岡 悦郎(81~94)
- 近畿・東海地方における梅雨特性の長期変動傾向……………水越 允治(95~102)
- 日本における貨物流動の地域的パターン (英文)……………村山 祐司(103~112)
- 「周縁」の衰弱……………浜 森太郎(113~123)
- 『樅の木は残った』における生活の「型崩れ」について ——
- 上代における拗音の仮名について……………廣岡 義隆(125~134)

研究ノート

- 生協の組織目標と個人目標……………碓井 崧(113~123)
- 灘神戸生協の組織社会学的研究 (その 1) ——
- 最近のディキンソン研究について……………武田 雅子(125~134)

展望

- 最近のオランダ・西ドイツ社会学界における個人主義の……………久慈 利武(135~158)
- リサーチ・プログラム展開の動向
- 総合研究『エヴリマン』3, 註解(7)(英文)……………鳥居忠信・山田耕士・磯野守彦(159~164)